

柴山文科相は辞任を

「教育勅語」美化発言 宗教者が共同声明

柴山昌彦文科相が戦前の「教育勅語」を美化する発言をした問題で、宗派を超えた宗教者が18日、同氏に発言撤回と辞任を求める共同声明を発表し、国会内で集会を開きました。

吉野は、柴山発言を

「再び戦前のような戦争国家への道を開き、子どもたちのかけがえない『いのち』を国家のために投げ出すことを強要しようとするものであり、決して看過できるものではありません」と強調しています。

呼びかけ人には、臨濟宗相国寺派管長の有馬頼底さん、カトリック東京教区大司教の菊地功さん、日本キリスト教婦人矯風会理事長の飯田瑞穂さんら53人が名前を連ねています。

つした日本キリスト教協議会総幹事の金性済(キム・ソンジエ)さんは、内閣府に宗教者共同声明を届けたことを紹介。「命のいちはん深い所を大切にすることが名前を連ねるとき

「教育勅語」の美化を求め、宗教者が集会を開き、柴山文科相の「教育勅語」の美化発言の撤回と辞任を求めました。



宗教者の集会であいさつする吉良よし子参院議員。18日、国会内

場に持ち込まれることは認められない」(鈴木木怡子・元日本キリスト教協議会議長)、「宗教者は戦後すぐに戦争協力を懺悔(ざんげ)しています。政治家の

間違った言動に命を賭してでも声をあげる時がきている」(奥田靖二・浅川金刀比羅神社宮司)などの発言がありました。

し子参院議員が参加し「命を守る教育の実現にみなさんと力を合わせてがんばります」とあいさつ。畑野君枝衆院議員がメッセージを寄せました。

日本共産党の吉良よし子参院議員が参加し「命を守る教育の実現にみなさんと力を合わせてがんばります」とあいさつ。畑野君枝衆院議員がメッセージを寄せました。